

購入者限定の特典として電子書籍版を用意
『小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2020』一般販売開始

株式会社協和企画（代表取締役社長：高橋直武、本社：東京都豊島区）は、11月2日より、『小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2020』の販売を開始しましたので、お知らせいたします。

【概要】

- ◎ **監修**：足立雄一、滝沢琢己、二村昌樹、藤澤隆夫
- ◎ **作成**：一般社団法人日本小児アレルギー学会
- ◎ **発行**：株式会社協和企画
- ◎ **定価**：本体 7,000 円 + 税
- ◎ **体裁**：B5 判、本文 270 ページ、アジロ無線綴じ
- ◎ **改訂・変更のポイント**：

2020 年版では、2017 年版に引き続いて、治療の一部において Minds* の手法に則り、より広い意見の集約と科学的な論証が構築されました。2017 年版の「長期管理」と「急性増悪(発作)」に、新たに「乳幼児喘息」を加えた計 12 個の Clinical Question (CQ) が設定され、治療の全体像や要点が分かりやすく示されています。2017 年版の「長期管理」と「急性増悪(発作)」に、新たに「乳幼児喘息」を加えた計 12 個の Clinical Question (CQ) が設定され、治療の全体像や要点が分かりやすく示されています。また、2017 年版の内容がすべて見直されて 3 年間の新しい知見が反映され、「診断的治療の手順」などの新たな図表が掲載されました。

本書では、購入者限定の特典として、新たに電子書籍版をご用意しました。フリーワード検索や参考文献のリンク付与など、より臨床現場で活用いただける仕様となっています。

*：日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部による診療ガイドライン作成方法

【2017 年版からの主な変更点】

- ・小児の喘息の一部は成人期に持ち越すことが知られていますが、小児期から成人期まで途切れなく一貫した治療管理の重要性に鑑み、章のタイトル「思春期・青年期喘息」を「思春期喘息・青年期喘息と移行期医療」に変更し、小児期から成人期の治療管理について詳述しました。
- ・長期管理の「薬物療法プラン」について、ステップアップをイメージしやすいように階段状に変更されました。
- ・重症喘息への使用機会が増えた「生物学的製剤」について、使用に際して評価すべき項目がまとめられました。
- ・「乳幼児喘息」については、診断的治療の詳細な手順をフローチャートで具体的に図示しました。
- ・喘息に合併する疾患は、呼吸器関連疾患に限定せず解説し、特にアレルギー性鼻炎などの合併症が考慮されました。

※注文は全国の医書取扱書店、また弊社ホームページにて承ります。

本リリースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社協和企画 〒170-8630 東京都豊島区東池袋 3-1-3
担当：小栗（おぐり） e-mail:m_oguri@kk-kyowa.co.jp